

週明けは日米ともに主要指数は下落

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

続落

週明けとなった昨日の日経平均は前週末比▼120円(▼0.4%)の2万8162円と2営業日続落で終えた。業種別ではゴム(前週末比+0.1%)、空運(同+0.1%)、陸運(同+0.1%)が上昇率の上位、鉄鋼(▼2.7%)、鉱業(同▼2.0%)、不動産(同▼1.3%)が下位であった。個別銘柄では、保有するNRI株を売却して、売却資金にて自社株買いを行うと発表したジャフコグループが前週末比+9.0%の上昇、売られる側のNRIは同▼7.5%の下落であった。サッカーのワールドカップにて日本代表がコスタリカに敗れたことが嫌気され、ABEMAでワールドカップの試合を中継しているサイバーエージェントが前週末比▼7.5%と売られた。その他では、世界的な景気減速や自動車生産の回復の遅れが嫌気され、日本製鉄(前週末比▼3.5%)、JFEホールディングス(同▼3.1%)、神戸製鋼所(同▼3.0%)といった鉄鋼株が安い。

NYダウは4営業日ぶりの下落

現地28日の米国市場では、世界経済の景気減速が意識されてNYダウは前週末比▼497ドル(▼1.4%)の3万3849ドルと4営業日ぶりの下落、ナスダックは同▼176ポイント(▼1.5%)の1万1049ポイントで終えた。個別銘柄では、エーザイと共同開発中のアルツハイマー型認知症治療薬「レカネマブ」の治験参加者が死亡したと報じられたバイオジェンが前週末比▼4.3%の下落、中国においてiPhoneの減産が伝わったアップルが同▼2.6%と下落した。ハイテク銘柄が売りに押され、クアルコム(前週末比▼3.1%)、エヌビディア(同▼2.7%)、AMD(同▼2.5%)などが下落して、SOX指数は前週末比▼2.6%であった。NYダウ構成銘柄ではボーイング(前週末比▼3.6%)、ディズニー(同▼3.2%)などが安い。WTI原油先物は前日比+1.2%の77.24ドル、米10年債利回りは前日比▼0.01%の3.68%で終えた。

今日の予定

現地28日のシカゴ日経平均先物は大証比▼70円の2万8090円で終了、今朝のドル円は1ドル138.90円程度(7:10時現在)で推移している。今日は国内では29日に10月の失業率・有効求人倍率、海外では、29日に11月の米消費者信頼感指数の発表が予定されている。

東京市場マーケットデータ

2022/11/29 現在

日経平均	2万8162円
プライム売買代金	2兆5582億円
プライム時価総額	719兆947億円
日経平均予想PER	12.9倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.2%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

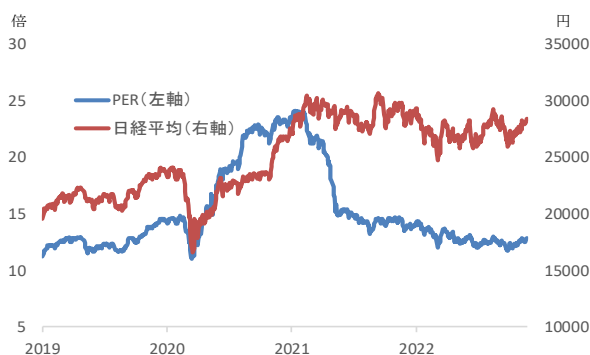
国内株式売買代金ランキング

2022/11/28 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	▼2.5%
2 ソフトバンクグループ	▼0.6%
3 三菱UFJFG	▼0.8%
4 三井住友FG	▼2.3%
5 ファーストリテイリング	0.2%
6 東京エレクトロン	▼1.5%
7 日本郵船	▼0.4%
8 塩野義	▼1.5%
9 トヨタ	▼1.0%
10 任天堂	▼0.8%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



出所: Quick

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa